

2011年9月12日

## フライブルク大学における日本人学生のためのサマープログラム「ドイツ語とドイツ文化」(2011年8月8日～31日実施)に係る報告書

秋田大学教育文化学部欧米文化講座  
准教授 アスマン・シュテファニー

### I. フライブルク大学における日本人学生のためのサマープログラム「ドイツ語とドイツ文化」プログラムの紹介

#### フライブルク市・フライブルク大学紹介

フライブルクは南ドイツの黒い森にあり、スイスとフランスに近く、いわゆる「三ヶ国の国境地域」として有名なところです。

その町にあるフライブルク大学は1457年に創立され、ドイツだけでなく、ヨーロッパの中でも長い歴史と伝統のある大学の一つです。研究分野は、人文・社会科学や自然科学、医学などの分野の他に、1995年以来、情報工学研究所やマイクロシステム技術研究所でも研究者が育成されています。17%の外国人学生を含む2万1千人の学生がおり、そのためフライブルクは大学の街と理解されています。フライブルク大学は2007年に、9校のエリート大学のひとつとして、いわゆる「エクセレント ユニバーシティー」に選抜されました。それは豊かな研究・教育活動ゆえにドイツのトップ大学として認められたことを意味しています。

日本人学生向けのドイツ語サマープログラムは特別プログラムとして、日本とドイツの大学をこれまで結びつけてきた長い伝統に基づき、日本人学生のニーズに合うように構成されています。このプログラムでは、相応の資格と有し、経験の豊かな教員による少人数クラスで集中的にドイツ語の授業がおこなわれ、さらに、ドイツの政治や歴史、教育制度についての講義や、フライブルク市と黒い森の周辺、スイスとフランスへの遠足と週末旅行が実施されました。また、宿泊はフライブルク大学の学生寮が斡旋されました。また、このプログラムはドイツ語初心者を対象とし、日本人・ドイツ人双方のスタッフによる毎日の生活に対するサポートが用意されています。

#### 公式行事日程

サマープログラムでは総計64コマのドイツ語授業を実施しました。公式行事日程は以下の通りです。

8月8日 (月)	到着、入寮
8月9日 (火)	フライブルク大学事務室からの挨拶、説明会、 クラス分けテスト、授業開始
8月10日 (水)	歓迎会、フライブルク大学学長シーバー氏による開講挨拶
8月26日 (金)	修了テスト
8月30日 (火)	サマープログラム修了証授与 修了式および修了パーティ
8月31日 (水)	退寮・帰国

### ドイツ語授業および講義

サマープログラムはドイツ語授業とドイツ文化についての講義で構成されています。ドイツ語授業構成は1コマ90分となっており、一日に2コマ授業が行われます。月曜日から金曜日までの授業時間は朝9時から午後12:30時までです。ドイツ語講師はドイツ語を教える資格(DaF)を持ち、大学語学研究所、市民学校、ゲーテ・インスティトゥート、独日学院での長期に渡る教育経験を有しています。その他には、毎週2日、午後、ドイツ生活と文化についての講義およびディスカッションが日本語で行われます。講義は約90分です。講義のテーマは以下の通りです。

ドイツにおける民主主義と歴史
フライブルクにおける環境政策
ドイツの文化ードイツのビール
ドイツと日本における学生生活
ドイツ経済

### レクリエーション・週末日帰り旅行

ドイツ語授業とドイツ文化についての講義以外に、フライブルク大学の日本人・ドイツ人スタッフによるレクリエーションプログラムが開催されます。午後の時間帯に、フライブルク周辺の様々なところへの遠足が行われます。行き先はフライブルク大聖堂のパイプオルガンコンサート、農家レストラン、黒い森、フライブルク美術館、フライブルク市場、ビール工場見学、エメンディンゲンワイン祭りと試飲、バーセル(スイス)とコルマー(フランス)、フライブルク周辺でのきつね狩です。週末旅行の場所はミュンヘン、ボーデン湖、シュトラースブルク(フランス)、チューリッヒ(スイス)などです。

## II. フライブルク大学サマーコースにおける秋田大学の学生の活動

### 秋田大学の学生：クラス分けテストの結果とクラス分け

今年のドイツ語サマープログラムに参加した秋田大学の学生は4人です。教育文化学部の学生で、第二外国語としてドイツ語を1年6カ月学んでいます。今回の海外滞在は、すべての学生にとっては初めての海外体験でした。

フライブルク大学におけるサマープログラムでは、初心者のクラス（Jクラス）から一番レベルの高いクラス（Aクラス）までのクラス分けが行われました。

FクラスからJクラスを担当する教員は日本語を話せませんが、AからEクラスの担当教員は日本語ができない教員となりますので、秋田大学からの参加学生全員が全くドイツ語のみの環境でドイツ語の学習を行い、ドイツ語に対する知識や運用能力を深めることができました。

### 秋田大学の学生：コース終了後の学習効果

ドイツ語勉強の上達を確認するために、アスマンはサマープログラムの最後に秋田大学の4人の学生に、クラス分けテストと同じものをもう一度受験させました。最初のクラス分けテストと比較すると、学生の皆さんはドイツにいる間に、高いレベルのクラスでドイツ語を勉強し、毎日のドイツ語環境の中でドイツ語を自由に使用し、効果的なドイツ語学習を行ったことがわかります。

## III. サマーコース参加の意義と今後の予定

### フライブルク大学サマーコースへ参加することの意義

秋田大学の学生は、今年初めてフライブルク大学の日本人学生向けのドイツ語サマープログラムに参加しました。ドイツ語を学んでいる学生にとっては、一か月間フライブルク大学に留学することは非常に良い経験だと思います。それは、ドイツ語の勉強と平行してドイツとヨーロッパについての知識を深めることができる上に、学生がドイツ人学生および日本全国の学生との交流を活発に行うことができるためです。

### フライブルク大学と秋田大学の交流関係についての展望

サマープログラムの最後に、アスマンはサマープログラムの責任者と、フライブルク大学インターナショナルオフィスのアジア地区担当者、クリスティアン・ティシャー氏と、

今後のサマープログラムへの参加予定について相談しました。ティチャー氏は、日本人学生向けのドイツ語サマープログラムを紹介するために、毎年11月に来日し、日本全国のフライブルク大学の姉妹大学を訪問します。ティチャー氏は今年の11月に秋田大学を訪問する予定で、毎年5～6名の秋田大学の学生がドイツ語サマープログラムに参加できるように、フライブルク大学と秋田大学の交流を推進する心づもりがあるようです。フライブルク大学と長期間に渡り交流関係を締結することは、秋田大学および学生にとって非常に大きなメリットになると思います。また、将来的にも多くの学生にフライブルク大学ドイツ語サマープログラムへの参加を推薦したいと考えています。